

読売新聞 10月28日掲載分

高垣真路の TeeBreak

ボールの位置



このコーナーは西の森ゴルフパークの提供による、契約プロ・高垣真路プロのコラムです。



「色々試してみよう」

構えたときのボールの位置について、1960年代から「ビッグ3」と称えられたプロゴルファーの、黒ひょうというニックネームの一人が、短いクラブは右足の前に、そして長くなるにつれて左足の方へ、クラブ一本一本で変えるべきだと唱えました。当時の日本のゴルフアーはみんなこれを基本と信じて真似ました。

ところが、金髪の熊と言われたもう一人は、全てのクラブで左足かと内側の前に統一して置きませんでした。日本のPGAの教本は、これを今でも基本とし

ています。そしてもう一人は、アーミー（軍隊）というファン集団に常に囲まれている人気者でしたが、あまりこだわらないで、感性にまかせているようでした。過去から現代まで活躍しているプロゴルファーを見渡しても、ボールの位置に普遍的な決まりは無いようです。

（PGAティーチングプロA級）

夜間・休日
2時間半
たくさん打ちたい方に最適!!
打ち放題!
随時受付中!!
個人レッスン・各種ゴルフ教室
西の森ゴルフパーク 宇都宮市 駒生町1780-1
西の森ゴルフ 検索 ☎028-652-3344

この「高垣真路の TeeBreak」は、「読売新聞栃木版」に
毎月最終金曜日に掲載されています。